

WHOが新たに創設する「伝統医療国際分類」(ICTM)

さる12月6日(月)、世界保健機構(WHO)が主導する伝統医療国際分類(ICTM)に関する記者会見が日本プレスセンタービル(千代田区)で行われた。ICTMとは伝統医療の診断および医療行為に関する国際的な標準用語と分類体系のことで、補完代替医療(CAM)を含んでいる。西洋医学については国際疾病分類(ICD)においてすでに分類がなされているが、伝統医療についてはいまだ作成されておらず、それを背景に、「ICTMプロジェクト」がスタートした。現在作業進行中のICDの改訂では伝統医療が取り入れられる予定となっている。今回は同プロジェクトの共同議長をつとめる渡辺賢治氏(慶応義塾大学医学部漢方医学センター長)をはじめとするメンバーよりの詳細が説明された。

◆伝統医学の情報標準化初の取り組み
ICTMプロジェクトでは臨床における伝統医学の用語の標準化および分類体系の作成と、さらにそれを電子情報システムに反映する取り組みを行っている。そのことで

伝統医療の形態、頻度、成果などのデータ収集を可能にするという。伝統医学の情報標準化にむけた初の取り組みとなる。伝統医学用語の標準化についてはWHO西太平洋地域事務局およびジュネーブ本部においてすで



渡辺賢治氏

コメント、情報交換、統一された同一の方法で他の言語に翻訳することが可能になるという。

◆国際疾病分類ICDに組み込む一世界の臨床現場で活用される可能性がWHOが作成しているICDには、死亡、疾病に関する統計と分類が収載され、10年毎の改訂により現在は第10版(ICD-10)まで作成されている。医療機関において

は診療記録の管理などで活用されており、異なる国や地域で集計されたデータから、統計比較、分析などがなされる。ICDはWHO国際分類ファミリー(WHO-FIC)分類の一つで「中心分類」に含まれている。(図参照)

世界保健機関国際分類ファミリー (WHO-FIC) WHO Family of International Classification		
関連分類	中心分類	派生分類
<ul style="list-style-type: none"> ●プライマリーケアに対する国際分類 (ICPC) ●外国に対する国際分類 (ICED) ●解剖・地理の異地から見た生物学的分類システム (ATC) ●障害者に対する補助機能の分類及び用語集 (ICSP99) 	<ul style="list-style-type: none"> ●国際疾病分類 (ICD) ●国際生活機能分類 (ICF) ●医療行為の分類 (ICHI) (作成中) 	<ul style="list-style-type: none"> ●国際疾病分類標準薬3版 (ICD-0-3) ●ICD-10精神及び行動障害者の分類 ●国際疾病分類標準薬学及び口腔科学への適応3版 (ICD-10-PA) ●ICD-10神経疾患への適応 (ICD-10-NA)
伝統医学の国際分類 (ICTM EA)		

つつの患者を守る 統合医療の揺りかごを探して

平成22年(2010) 漢方・東洋医学・統合医療関連できごと総覧

6・7面

4・5面